

【教育活動の名称】 仲間と共に取り組む教育活動の充実

【副題】 ～ユニバーサルデザインの観点から～

【学校名】 滋賀県立三雲養護学校

1 本校の概要

本校は、湖南市の西方に位置し、周りを自然豊かな山や林に囲まれた閑静なところにある。本校(小学部、中学部、高等部)および県立石部高校内に設置された高等部石部分教室、独立行政法人国立病院機構紫香楽病院内にある紫香楽校舎と、3つの学び舎に312名の児童生徒が在籍している。

施設や病院から通う児童生徒が多く在籍することから、家庭や施設・病院での生活指導や療育機関等の関連機関と密接な連携を保ちながら、児童生徒一人ひとりに応じた適切な教育を進めている。

学校教育目標

「人間(ひと)としての尊厳と可能性への信頼を原点として」

○児童生徒一人ひとりの発達と障害に応じた教育を行う。

○健康で明るい生活をするために、調和のとれた心身の育成に努める。

○社会的・職業的に自立できる人間の育成をめざす。

小中高一貫性のある教育の創造と実践、及び高等部を中心とした職業教育の充実を図っている。

また、個別の教育支援計画や個別の指導計画を活用し、保護者や関係機関との連携のもと、児童生徒の自立に向けた力を育てることに努めている。

2 取り組んだ内容

(1) 「いしぶんマーケット」 広報活動 (石部分教室)

湖南市、県立日野高校、福祉事業所、国宝湖南、道の駅などで作業製品の販売や設置ができた。その広報活動として、湖南市などの協力いただける場所でチラシ配布やポスター掲示、購入者にはQRコードでレビューをいただくカードを配付した。

(2) スリットドラムやバランスボードを活用した学習活動 (紫香楽校舎)

音楽(うた・リズム)や体育(からだ・うんどう)の学習において、主に、ベッドサイドでの学習時に活用して取り組んだ。どちらも、病棟に持ち込むことができ、ベッド上に乗せて、児童生徒の姿勢に合わせて使用することができた。

(3) タブレット三脚を活用した『三雲カーニバル』でのリモート中継について (小学部・中学部・高等部)

児童生徒会が企画・運営している行事である『三雲カーニバル』(ステージ発表など)において、タブレット三脚を使用したリモート中継を実施した。

(4) ハンドアーチェリーを使った多様な学習(全校)

体育の学習だけでなく、算数の学習にも使用。準備や片付けもしやすく使いやすい。今後、肢体不自由児童生徒用補助具も整備し幅広く活用したい。

3 活動の成果

(1) 内容(1)の成果(分教室)

広報活動を通して、広く知っていただき、集客にもなった。販売活動では、お客様と直接触れ合い、製品の感想をいただいたり、購入いただいたりすることに喜びを感じ、作業意欲に繋がった。

(2) 内容(2)の成果(紫香楽)

どちらもこれまで校舎にはなかった教材であり、身体で音の響きや揺れを感じることができ、視線や表情で感じた思いを表現する様子が見られた。

(3) 内容(3)の成果(小学部・中学部・高等部)

給食後の昼休みに行われる行事のため、体育館で参観できない児童・生徒のためにリモート中継をし、実態に応じた参観方法で実施することができた。

(4) 内容(4)の成果(全校)

ピンがマグネットでくっついたり、点数が電子で表示されたりするためわかりやすく、友だちとともに楽しみながら積極的に活動し学ぶことができた。

